

大学院保健医療学研究科 看護学専攻 修士学位論文審査基準等

【看護学専攻修士学位論文 審査基準】

	審査基準
研究の意義	○看護学研究として、学術的意義があるか
	○研究課題に、新規性や独自性があるか
研究方法と内容	○設定されたテーマに関連する国内外の先行研究を検討した結果に基づき、研究の課題・背景・意義・目的などが明確に示されているか
	○研究目的を達成するための研究方法は妥当であるか
	○研究目的が達成され、研究課題の解決に貢献しうる成果が得られたか
	○今後の課題が明確になっているか
	○自立して研究活動を行える能力と学識が学位論文に示されているか
	○全体的に論理的な文章で構成されているか
倫理的配慮	○研究対象者等の権利を擁護できているか
	○研究の全過程を通して、倫理的配慮を反映した行動がとれていることを示しているか
口頭試問	○審査員の質問に対し、誠実、かつ真摯に回答できたか
	○論文の内容について、根拠をもって論理的に説明できたか
	○指摘された事項に対し、その採否や修正の方向性について検討し、適切に論文を修正できたか

【最終試験（論文発表会） 審査基準 （両専攻共通）】

研究者としての能力	○研究内容をわかりやすくプレゼンテーションできたか
	○質疑応答を通して、専門的な知識を十分修得していることが示されたか
	○学術研究に相応しい発表、討論がなされたか
	○今後の研究活動につながる研究能力と学識が示されたか